

2019 年度 授業計画(シラバス)

学 科	理学療法士学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	演習
科 目 名	理学療法治療学IV-B		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	夜間部3年		学期及び曜時限	後期	教室名	
担 当 教 員	徳富真洋	実務経験とその関連資格	大学病院で心大血管疾患リハを中心に14年実地勤務。その後7年ほど、急性期病院での急性心筋梗塞、慢性心不全、心臓血管外科術後のリハ全般を実施している。心臓リハビリテーション指導士年資格所持。			
《授業科目における学習内容》						
循環器疾患の基礎的な知識を整理し、循環器疾患に対する理学療法の介入方法、リスク管理等を学ぶ						
《成績評価の方法と基準》						
筆記試験						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
資料配布 【参考図書】①病気が見える2循環器②循環器疾患ビジュアルブック③狭心症・心筋梗塞のリハビリテーション④眼でみる実践心臓リハビリテーション⑤ハート先生の心電図教室⑥疾患別リハビリテーションリスク管理マニュアル⑦JCSガイドライン						
《授業外における学習方法》						
関連する基礎分野の復習、不足している知識の補充を行っておくこと						
《履修に当たっての留意点》						
心大血管リハにおける基礎を習得し興味を持てるような授業展開を考えています。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	正常な循環器の解剖・生理・の基礎が理解できる ①	配布資料		解剖・整理の復習
		各コマにおける授業予定	解剖学、運動生理学の確認			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	正常な循環器の解剖・生理・の基礎が理解できる ②	配布資料		解剖・整理の復習
		各コマにおける授業予定	解剖学、運動生理学の確認			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	正常な循環器の解剖・生理・の基礎が理解できる ③	配布資料		解剖・整理の復習
		各コマにおける授業予定	解剖学、運動生理学の確認			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	心電図の基礎を理解できる、代表的な不整脈を理解できる	配布資料		不整脈の復習
		各コマにおける授業予定	心電図のみかた、不整脈の確認			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	虚血性心疾患について理解できる ①	配布資料		内科学の復習
		各コマにおける授業予定	狭心症の病態について			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	虚血性心疾患について理解できる ②	配布資料	内科学の復習
		各コマにおける授業予定	狭心症、心筋梗塞について(病態・治療・リハビリテーション)		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	虚血性心疾患について理解できる ③	配布資料	内科学の復習
		各コマにおける授業予定	心筋梗塞について(病態・治療・リハビリテーション)		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	心臓血管外科術後について理解できる	配布資料	虚血性心疾患について理解しておく
		各コマにおける授業予定	心臓血管術後患者のリハビリテーション介入について		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	心不全病態について理解できる	配布資料	内科学の復習
		各コマにおける授業予定	心不全の病態、症状等について		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	心不全患者のリハビリテーションを理解できる	配布資料	内科学の復習
		各コマにおける授業予定	心不全患者への介入方法、リスクについて学習する		
第11回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第12回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第13回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第14回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第15回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			